第23回
# 日本デフ陸上競技選手権大会

第6回
## 日本デフジュニア・ユース陸上競技選手権大会

Challenge the Limits of Speed and Strength!

**2026.9月22日(火)tue・23日(水)wed**

#デフ陸上2026

会場 **平和堂HATOスタジアム**
〒522-0002 滋賀県彦根市松原町 3028

ライブ配信決定 LIVE YouTube

大会情報はこちら▶▶▶

主催 一般社団法人日本デフ陸上競技協会 JDAA Japan Deaf Athletics Association 一般財団法人滋賀陸上競技協会

主管 一般財団法人滋賀陸上競技協会

後援 滋賀県、彦根市、スポーツ庁、公益財団法人日本陸上競技連盟、公益財団法人滋賀県スポーツ協会、滋賀県パラスポーツ指導者協議会、一般社団法人滋賀県障害者スポーツ協会、一般財団法人全日本ろうあ連盟、公益財団法人日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会、一般社団法人滋賀県ろうあ協会、社会福祉法人滋賀県聴覚障害者福祉協会

協賛 asics sound mind sound body　山田昇記念財団　NISHI　つなひろワールド　東京パワーテクノロジー　FUJIMI　MUFG 三菱UFJリサーチ&コンサルティング　スポーツくじ WINNER BIG

SHIGA PARA SPORTS

T/F
00

東京2025デフリンピック　応援ありがとうございました！

# 聴覚障がいクラス

聴覚障がいクラスは、パラリンピックに参加できませんが、デフリンピック競技大会に参加できます。

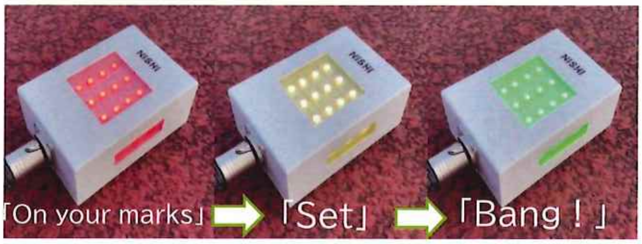
## 【競技方法やみどころ】

競技は一般と同じで世界陸上競技連盟（WA）の競技規則に従って行います。そのため、国内では聴覚障がい選手が地域の競技会に出場する際に、会場での場内アナウンスの内容や誘導での情報保障、短距離種目（100m～400m）におけるスタートの情報伝達の面で多くの課題が残ります。そのスタートの合図を知らせるための情報伝達機器として「光刺激スタートシステム（通称：スタートランプ）」が使用されます。400mまでの種目においては、1レーンに1つずつ置いて、3つの光の色で知らせます。

# スタートランプ

### ①クラウチングスタートランプ

1レーンに1つずつ、選手が見やすい場所に設置することができる。




### ②フライング伝達ランプ

フライング時、きこえない選手は気付かずに走り続けてしまうため、光で制止する装置。

### ③スタンディングスタートランプ

360°どこからでも見えるように設置することができるため、観客への情報保障にもなるように設置します。

スターターの近くに設置

## 【聴覚障がい者の主な大会】

**国内大会（JAAF公認）**

・日本デフ陸上競技選手権大会（JDAA主催）
・全国聾学校陸上競技大会（全国聾学校体育連盟主催）
・全国ろうあ者体育大会（全日本ろうあ連盟主催）

**国際大会（ICSD公認）**

・夏季デフリンピック競技大会
・世界デフ陸上競技選手権大会
・世界デフ室内陸上競技選手権大会
・アジア太平洋ろう者競技大会

## 【デフリンピック競技大会の出場条件＆ルール】

聴覚障害者スポーツの団体を総括する国際組織ICSD（International Committee of Sports for the Deaf）と呼ばれる「国際ろう者スポーツ委員会」であり、聴覚障がい者当事者のみによる組織運営を行っています。デフリンピック競技大会などの国際大会ではICSD規定により、全競技種目における出場資格として裸耳での平均聴力レベル55㏈（デシベル）以上の条件があります。さらに、競技本番おいては補聴器や人工内耳を外すルールが存在し、試合出場前の選手招集の際に補聴器や人工内耳を装用していると失格になります。

選手登録については、公認記録を残すために日本陸上競技連盟の会員である必要があり、在住地域の陸上競技協会への登録を行ないます。聴覚障がい選手はデフリンピック競技大会などのICSD公認大会に出場するためには、これに加えて全日本ろうあ連盟の傘下にある在住地域の聴覚障害者協会と日本デフ陸上競技協会（JDAA）への登録も必要になります。